

令和2年度 町財政の
「健全化判断比率」
「資金不足比率」
「経常収支比率」

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率と資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率と将来負担比率は基準値内であり、公営企業（水道・公共下水道事業）会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、新庁舎建設による借入れに伴い、公債費が増加したものの、一部事務組合※1負担金の減少や普通交付税額の増加などにより0.8ポイント減少しました。将来負担比率は、新庁舎建設による借入れや基金取り崩しが増加したことなどから22.2ポイント増加しました。

(単位：%)

区分	30年度	元年度	2年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	11.4	10.4
	将来負担比率 (350.0)	3.6	14.4
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-
経常収支比率	89.9	89.6	88.0

※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため、「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体（黄信号）として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 一部事務組合…2以上の地方公共団体における事務の一部を共同で処理するために設けられる組合（例えば、公立藤田総合病院組合や伊達消防組合など）
※2 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途の特定がない財源）の規模 [桑折町はおおむね36億円程度]

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金（借金の返済）の標準財政規模※2に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

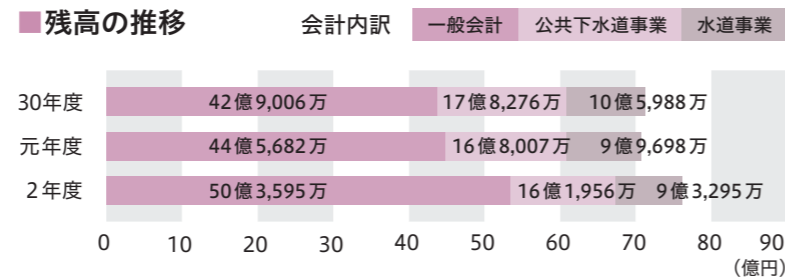
一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※2に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費（人件費や扶助費など）の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。2年度県市町村平均は89.0%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。



令和2年度末 町債などの残高 (単位：円)

会計区分	元年度末残高 (A)	2年度借入額 (B)	2年度償還元金 (C)	2年度末残高 (A)+(B)-(C)
町債				
一般会計	44億5,682万	10億580万	4億2,667万	50億3,595万
公共下水道事業特別会計	16億8,007万	9,580万	1億5,631万	16億1,956万
企業債				
水道事業会計	9億9,698万	-	6,403万	9億3,295万

令和2年度
主な使いみち

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしいまちづくりに取り組みました。重点プロジェクトと基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト	(単位：万円)	III. 安全安心で住みやすい 生活環境の構築	
質の高い桃生産に向けた農家支援	1,509	消防・防災（伊達地方消防組合運営負担金、消防団活動費、消防施設維持管理など）	24,247
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	1,423	生活安全（防犯灯LED更新工事、交通安全対策事業など）	641
観光誘客プロモーション事業	404	環境衛生（除去土壌搬出・仮置場解体除染関連事業、衛生処理組合運営負担金など）	36,300
伊達桑折IC周辺の土地利用検討と企業誘致	12	環境共生（かわまちづくり計画事業、住宅用再エネ設備設置補助事業など）	2,016
相馬福島道路整備関連事業	259	総合交通網（町道新設改良事業、町道等維持管理事業、橋梁長寿命化事業など）	11,800
史跡桑折西山城跡整備事業	4,243	居住環境（合併処理浄化槽設置整備補助事業、安全安心耐震促進事業、空家等除却工事補助事業など）	943
全国山城サミット桑折大会プレ大会事業	974	水道（水道施設整備事業補助金など）	97
万正寺の大力ヤ周辺整備事業	847	IV. 志高い人材を育む 学びの醸成	
役場新庁舎建設事業	152,928	乳幼児保育と教育（保育所・幼稚園管理運営業務、放課後児童健全育成事業など）	23,042
I. 魅力的で活力ある 地域社会の創生		小中学校教育（ICT機器活用、学校給食の負担軽減、給食センター設備機器更新など）	27,251
農林業振興（ふくしま森林再生事業、有害鳥獣対策事業、森林病害虫防除事業など）	10,195	生涯学習（公民館事業、図書活動事業、青少年教育講演会など）	1,440
商工業振興（地域経済活性化商品券発行事業、事業継続支援給付金事業、中小企業信用保証料補助事業など）	8,896	生涯スポーツ（町民体育館のトイレ・屋根防水改修工事、温水プールを活用した運動機会の提供）	983
観光交流（町民研修センター「うぶかの郷」管理運営費）	1,980	V. 計画推進に向けた取り組み	
土地利用（都市計画法第34条第11号の制度活用推進事業）	21	住民自治の活性化（一般コミュニティ助成事業、住民自治協議会運営、町表彰式など）	498
都市緑化と景観（公園・緑地維持管理事業）	991	行政機能の強化（窓口業務の充実、公衆Wi-Fi機器環境整備事業、文書管理システム貸借および保守など）	7,848
歴史まちづくり（郡役所周辺整備事業）	112	健全な財政運営（ふるさと納税関連事業、町税などのコンビニ収納・口座振替利用促進）	3,981
移住・定住（移住定住PR促進事業、新婚世帯家賃支援事業、地域おこし協力隊事業など）	2,537	広報・広聴の充実（広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務）	513
II. 健やかで希望に満ちた 暮らしの確立		VI. その他	
結婚・子育て支援（ネウボラ事業、子ども医療費助成事業、イコージェ屋内遊び場確保事業など）	6,885	特別定額給付金給付事業	117,328
健康と医療（公立藤田総合病院負担金、各種がん健診事業、こおり健康楽会など）	8,834		
地域福祉（障がい者福祉扶助費、社会福祉協議会事業補助金交付事業など）	28,274		
高齢者福祉（老人福祉センター「大かや園」管理運営費、老人保護措置業務、「献上桃の郷おでかけパス」利用助成事業）	5,489		

令和3年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は53億7,840万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、62億5,712万円となりました。

予算補正の主なもの (単位：円)

▶ 災害等廃棄物処理（公費解体）事業	2億4,919万
▶ 旧伊達郡役所の災害復旧保存・修理事業	1億2,778万
▶ 昭和大橋の橋梁災害復旧事業	1億360万
▶ 4月の凍霜被害に係る農業災害対策事業	3,907万